

昭和フィルム 完全子会社化

バローH Dの
子会社・中部流通

バローホールディングス(H D)は22日、子会社の中部流通(多治見市大針町)が、合成樹脂原料・製品の販売を手がける昭和フィルム(大阪市)の発行済み株式を全て取得し、4月12日付で完全子会社化すると発表した。昭和フィルムと、完全子会社の包装資材製造のユニードパック(香川県まんのう町)の2社がバローH Dの連結対象に加わ

る。株式の取得額は非公表。

中部流通は、自社プライベートブランド商品などのパッケージの企画、デザインや包装フィルムの供給を手がけており、事業の親和性が高い昭和フィルムとの相乗効果に期待し、子会社化を決めた。ほかにも在庫の適切な管理、商品開発スピードや納期の短縮、安定供給といった効果を見込んでいる。

2022年3月期の昭和フィルムの売上高は64億1400万円、純利益は1億1900万円。ユニードパックの売上高は21億3900万円、純利益は4500万円。バローH Dは、2社が連結対象になったことについて「23年3月期の連結業績に与える影響は軽微」としている。